

第1章 平成8年度山口大学構内遺跡調査の概要

山口大学の関連諸施設は、山口市（吉田・亀山構内）、宇部市（小串・常盤構内）、光市（光構内）の県内各市に分散している。各構内には、縄文時代後・晩期から江戸時代にかけての複合集落遺跡として著名な吉田構内をはじめとして、旧石器時代の遺物が出土する小串構内など、周知の遺跡が埋存している。山口大学埋蔵文化財資料館は学内共同利用施設として、これら各構内において現状変更を伴う諸工事に対し、埋蔵文化財保護の立場から調査・研究を行っている。埋蔵文化財の調査を必要とする場合は、工事地域周辺での既往の調査結果や工事の内容、埋蔵文化財に対する影響の度合いなどを勘案し、埋蔵文化財資料館運営委員会の議を経て、事前・試掘・立会の三種の方法によって調査を実施している。

平成8年度は下記のように、事前調査1件、試掘調査3件、立会調査11件の計15件の調査を実施した。

Tab.1 平成8年度山口大学構内遺跡調査一覧表

調査区分	調査名	構内地区	構内地区制	面積 (㎡)	調査期間	挿図番号
事前	国際交流会館新営	常盤		352	5月13日～ 6月13日 7月1日～ 7月31日	Fig.90 No.18
試	基幹環境整備 (独身宿舎・国際交流会館排水布設)	吉田	M-23, O-22	22.5	10月9日～ 10月25日	Fig.88 No.188
	基幹環境整備 (外灯新設)	吉田	H・I-21・22	306	10月9日～ 11月24日	Fig.88 No.189
掘	農学部附属農場排水布設	吉田	S-10・11	93	2月18日～ 2月28日	Fig.88 No.190
立	陸上競技場鉄棒取設	吉田	G-18	5.5	8月6日	Fig.88 No.191
	農学部附属農場排水溝改修	吉田	R-11	2.2	9月11日	Fig.88 No.192
	樞野寮バリアカー新設	吉田	O-20・21	7	10月23日	Fig.88 No.193
	サッカー場給水管取替	吉田	H-19・20, I-19	12	10月28日	Fig.88 No.194
	基幹環境整備 (共通教育センタースロープ・テラス新設)	吉田	J・K-17	14.3	1月27・30日	Fig.88 No.195
	九田川河川局部改良	吉田	E-14	18	2月19日	Fig.88 No.196
	農学部附属農場道路舗装	吉田	K-12・13, L-12, M-11	27.6	2月24日～ 3月6日	Fig.88 No.197
会	本部裏排水管取替	吉田	K-14	2	3月18・19日	Fig.88 No.198
	農学部附属農場家畜病院患者舎囲障取設	吉田	S・T-19	1	3月27日	Fig.88 No.199
	医療技術短期大学部屋外排水布設	小串		6	8月1日	Fig.89 No.27
	教育学部附属光小中学校囲障 (外周フェンス・防球ネット) 取設	光		7	9月12・17日	Fig.93 No.17

吉田構内の調査 (本部、人文・教育・経済・理・農の各学部：山口市大字吉田1677-1、教育学部附属養護学校：同吉田3003所在)

試掘調査3件、立会調査9件を実施した。

基幹環境整備（独身宿舎・国際交流会館排水管布設）に伴う試掘調査で、独身宿舎敷地では現地表下約1.3m、国際交流会館敷地では現地表下約1mで河川を検出したが、遺物は出土しなかった。また、基幹環境整備（外灯新設）に伴う試掘調査では、3条の河川を検出した。このうち、河川3からは、縄文時代後期から晩期の土器、弥生時代前期の土器

が少量出土した。また河川1及び同河川の攪乱溝からは、弥生時代中期から古墳時代前期の土器が多数出土し、河川1では護岸用の杭を検出した。

農学部附属農場排水管布設に伴う試掘調査では、調査区の南部で古墳時代～中世の遺物包含層とピット群を検出した。調査地周辺は、これまで発掘調査がほとんど行われておらず、今後の調査が期待される。

立会調査でも、遺構と遺物を確認している。陸上競技場鉄棒取設工事に伴う立会調査では、22ヶ所について調査を行った結果、現地表下約20cmで、河川と考えられる砂礫層、及び弥生土器を含む遺物包含層を検出した。サッカー場給水管取替工事に伴う立会調査では、現地表下約50cmで既設管の掘り方の土層を観察し、遺物包含層ないし遺構の埋土と思われる土層を確認した。調査地は遺跡保存地区に近いことから、竪穴住居などの関連する遺構が分布している可能性が高い。基幹環境整備（共通教育センター スロープ・テラス新設）工事に伴う立会調査で



Fig.1 山口大学吉田・亀山構内位置図



Fig.2 山口大学小串・常盤構内位置図

は、調査区の北部において現地表下約50cmで、河川堆積によると思われる包含層から縄文土器の小片が出土した。農学部附属農場農道舗装工事に伴う立会調査では9ヶ所設けたトレンチのうち、4トレンチでは溝状落ち込みを検出し、弥生時代中期から古墳時代前期にかけての多数の土器が出土した。また、6トレンチでは木杭による護岸を備えた、近世から統合移転前まで機能していたと考えられる用水路を検出し、多数の陶磁器が出土した。各トレンチでは盛土が厚く、調査地近辺では旧地形が良好に残存することが想定される。その他の立会調査では、顕著な遺構・遺物は検出できなかった。

小串構内の調査 (医学部、同附属病院、医療技術短期大学部：宇部市南小串1丁目1-1)

立会調査1件を実施した。医療技術短期大学部屋外排水管布設工事に伴って、立会調査を実施したが、顕著な遺構・遺物は検出できなかった。

常盤構内の調査 (工学部：宇部市常盤台2丁目16-1、尾山宿舍：同上野中町2658-3所在)

事前調査1件を実施した。国際交流会館新営に伴う発掘調査では、造成工事による削平が著しいものの、調査区の最北部では、近世から近代にかけてのものとみられる段状遺構を検出した。また、北拡張区では剥片、南拡張区でナイフ形石器が出土した。残念ながら、これらの石器が本来所属する文化層を明らかにすることはできなかった。しかし、常盤構内の東側には全国的に著名な旧石器時代遺物の散布地である常盤池遺跡が所在する。このことから、常盤構内にも常盤池遺跡と関連する遺跡が分布する可能性が残されており、今後の継続的な調査が期待される。



Fig.3 山口大学光構内位置図

その時期は出土した少量の陶磁器から、近世から近代と推測される。

(田畑)

光構内の調査 (教育学部附属光小学校、同光中学校 :

光市大字室積浦1-1所在)

立会調査1件を実施した。困障(外周フェンス・防球ネット)取設工事に伴う立会調査では、海岸に沿って、北西部のA地区(外周フェンス)、南東部のB地区(防球ネット)で調査を行った。その結果、A地区の一部では、時期不明であるが、現地表下約60cmで丸石による護岸を検出した。B地区では、現地表下約70cmで黄褐色及び黄白色砂層を検出した。

この砂層の上面が旧地表面と考えられ、